

演習で柔軟な姿勢が身についた

☆☆☆☆☆

私は、これまで培ってきた外科系病棟や院内褥瘡委員の経験を活かして、皮膚・排泄ケア認定看護師になりたいと思い、転居を機に京都橘大学看護教育研修センターを受験しました。私の他にも各地から多くの研修生が、既に活躍されている皮膚・排泄ケア認定看護師の姿に憧れを抱いて入学しました。研修中は学ぶべきことの多さとプレッシャーで心がくじけそうになりながら厳しい日々でしたが、今振り返ると同志と学び合うことで、楽しく充実したかけがえのない7ヶ月間を過ごすことができました。苦楽を共にした同志は今でも大切な宝物です。

授業は講義だけでなく、演習が多く含まれています。創傷やストーマのモデルなどを使いながら研修センター内にある豊富なケア用品を実際に手に取り、研修生同士でディスカッションを交わしてケア方法を検討していきます。それぞれの経験と授業で学んだ知識を突き合わせて考えたケアはいくつもの方法になります。この演習を通して知識と技術の幅が広がり、個々の症例に合わせて柔軟に対応する姿勢を身につけることができました。

第四期生（2010年度修了）

